

取材先	朗読ハウスもがも家		
企画名	怪談朗読会		
備考			
取材日	2024年8月25日(火) 天候[晴れ] [16:00~18:00]	取材地	長府東公民館

レポート

朗読ハウスもがも家の怪談好き有志10人が集まっての朗読会。暗闇の中おどろおどろしい音が鳴り響き、襖の向こう側の廊下を明かりを灯しながらゆっくり歩いて、そっと襖を開け席へつく、いよいよ怪談朗読が始まりました。

マンションに住み始めると夜中にサ〜ッと何か物をなでる音がするように…という話から始まり、ひと仕事を終え仲間と怪談話をし1人で子どもを背負って幽霊滝に肝試しに行った女は戻って来ると背中が濡れて半てんの中から落ちたものは…、人を殺してしまい病院で目覚めると犯人は別の男になって…、深夜の喫煙室に黒い靴を履いた足が並んで見えると…、お店で自慢のうどんを出してくれた男は…、妖怪が出ると噂の池に釣りに行き魚を持って帰る途中に出合った男が振り返った時の顔は…、など不気味な話が一人一人語られました。

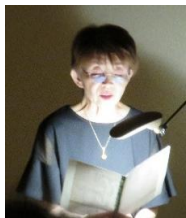
自分の怪談話を選ぶにあたり、1人の持ち時間が10分前後と決められており時間内に話せる怪談話を探すのが大変だったようで、たまたま見つけた短い話の中で自分が好きだと思ったものや自分の個性にあった読みやすいものに決めていったそうです。

怪談を読むポイントを田丸代表に尋ねたところ、なんとなく全体的に不穏なムードを漂わせながら読むこと、怖がらせようと大袈裟に怖い声を出さないこと、さりげなく読んで行く中で、ここぞという箇所に差し掛かったらトーンを落として「何かが起こりそう」な気配を漂わせることなどで、さじ加減が難しいそうです。

外は夕方とはいえまだ蒸し暑さが体にまとわりつくようでしたが、雰囲気も含めゾッとする怪談朗読を楽しむことができました。

次回の朗読会は、ワンちゃん猫ちゃんのお話の読み聞かせ『もふもふ朗読会』が下関市動物愛護管理センターで行われます。9月23日(月祝) 11時30分から13時30分の間で3回行われます。犬や猫の動物にも会いに朗読会に行かれてみませんか。

状況写真



襖越しに見える廊下を歩く姿



田丸代表

